

聖路加国際大学 履修証明プログラム

人々の健康や生活上の課題の解決のために
テクノロジーを活用したケアの質を向上する

“People-Centered ケアイノベーション”

人材を育成します

「ケア」×「イノベーション」＝**ケアの未来を拓く**

「ケアイノベーションコース」

2026年度 受講生募集

開講期間：2026年5月上旬～2026年8月末の土曜日

授業時間：Ⅰ限 9:30～12:30、Ⅱ限 13:30～16:30

※開講日は対面で午前・午後、講義は原則として午後(Ⅱ限)オンライン

授業形態：講義・演習 オンライン (zoom) および対面

2025年度は講義:対面2コマ・オンライン13コマ/ 演習:対面5コマで実施

出願期間：2025年12月15日(月)～2026年2月27日(金)

募集人数：12人

受講対象者：ケア系ITに関心のある方(職種不問)・ケアイノベーションに関心がある方・医療機関、訪問看護ステーション、介護施設、地域ケア機関、行政機関などで働く看護職の方・高等学校を卒業し日本語での受講に支障がない方

コース責任者：聖路加国際大学 教授 亀井智子

募集要項、出願の詳細は
Webサイトをご覧ください

<https://edu-sk.luke.ac.jp/course/detail/392/>



職業実践力育成プログラム(BP)認定



Brush up Program
for professional

令和7年12月16日付

＜履修証明プログラムとは＞ 履修証明プログラムとは、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書(Certificate)を交付するものです。学位が授与されるものではありません。



イノベーションは

特別な、遠くの、誰かが起こすものではなく
ひとりひとりの日々の気づきや行動から始まる



ここで新たな一步を踏み出す

それだってイノベーション



2025年度 受講生の感想

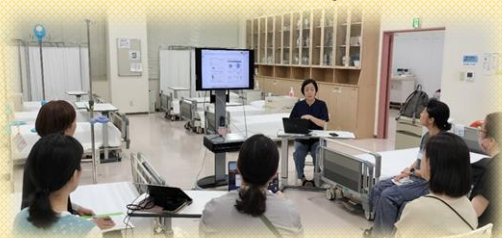
受講前半の感想の一部を抜粋

写真は2025年度演習の様子

「使い手を主役に」印象に残った言葉です。先輩看護師は「使いやすい道具の開発」や「使いやすい方法」を発表していました。現在の私たちは「使やすく」と考える余裕もなく、後輩看護師は「こんなもんだから」と疑問にも思わなくなっている。看護研究として取り組む時間も意欲もない。だからこそ、このコースが必要なのだと思いました。

「ケアの主人公は誰か？」という問いが印象的でした。医療者主体から市民主体へと視点を転換することで、医療だけでなく生活、予防等、ヘルスケア全般を捉えられる大切さを改めて実感しました。

先生のお話を通じて、DXをツールとして捉える際に、「お任せする部分」と「自分たちがすべきこと」とを明確に区別しチームとしてその結果に対する共通認識を持つことの重要性を痛感しました。



ケアイノベーションの例や何かを変えていくときに必要なプロセス・心持ちを話していただいたので、イノベーションの輪郭がはっきりし、自分が手掛けたいことがぼんやりと見えてきた。午前のグループワークでは自分の考えがまとまらず意見が言えなかったが、少しでも自分の思いを言語化することができた。



Co-Creationを考える上で、具体的な症例をいくつも提示して頂いたことで、とても理解が深まりました。共創の基本的理念そのものから、意識改革をしないといけないと思います。

医師が関わる診療域でのAIの活用を紹介してくださり、診療や外科的治療など複雑になってきている中、テクノロジーの力で職人的な分野が平準化され、若い人でもできるようになっていたり、より正確になったりしていることが分かった。

働きながら学ぶ・つながる 聖路加という選択

聖路加国際大学 看護リカレント教育部 <https://edu-sk.luke.ac.jp/>

